

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【123】

2. 日時：令和4年3月18日 10時00分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理補佐、植木主任審査官、大野主任安全審査官、岩崎安全審査官、
宇田川安全審査官、服部安全審査専門職、山浦技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他10名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、では本日のヒアリング開始したいと思います。
0:00:06	それでは中国電力から説明をお願いいたします。
0:00:10	中国電力の中嶋です。
0:00:12	それでは説明は変えさせていただきます。本日ですけどブローアウトパネル閉止装置について、
0:00:18	3月10日に実施した前回ヒアリングでの主実機事項に対する回答をさせていただきます。
0:00:24	まず資料の番号取りからさせていただきます。
0:00:28	資料番号N-S2 オカ 053Φ02501。
0:00:34	ANA図 2.1029 回 03 を②。
0:00:39	N-S2.1029、失礼しました。029 回、
0:00:45	予算、括弧ヒーロー03。
0:00:48	N-Sに 5020、
0:00:51	はい、06 フォーマル減。
0:00:54	N-Sにオカ 005804。
0:00:57	⑤、
0:00:59	N-Sにオカ 067 回 02 の⑥。
0:01:04	ANAずに、オカ、
0:01:06	071 回 02-07 とします。
0:01:11	まずは主な説明事項の回答からさせていただきますので、資料番号⑤の回答整理表の5ページ目をお願いします。
0:01:23	ナンバー29。
0:01:25	2時30分から説明します。
0:01:28	ご指摘としましてはブローたパネル閉止装置等ブローアウトパネルの位置関係がわかるようにというご指摘でしたので、
0:01:35	資料番号⑥パワーポイントの4ページの内、図2、
0:01:42	フロアパネルとパネル配置関係がわかるような図に見直しております。
0:01:51	続いて回答整理用に戻りまして、資料⑤のナンバー31。
0:01:56	通常待機中にどのような状態かわかるように記載検討すること。また一色が同時に閉まることがわかるように記載検討することというご指摘について、
0:02:05	⑥の資料の、
0:02:08	5ページ目をお願いします。
0:02:12	こちら意識で追記としてますけども、
0:02:15	中央から操作によって一色が電動で同時に開閉。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	またブロードバンド装置の大気中であるプラント通常運転時というような、
0:02:24	記載の適正化を行っております。
0:02:28	続いて⑤の資料の、
0:02:30	No.32。
0:02:32	セルフロックの位置がわかるように記載検討することというご指摘について、
0:02:36	⑥の 5 ページ目の図 4。
0:02:40	その中で、駆動部の箇所にセルフロック機能ありというような記載を追記しております。
0:02:49	続いて、⑤の資料のナンバー33。
0:02:52	加振試験の試験一覧を追加して説明すること、また 7 振動のガル数、3 方向の固有振動数について説明することというご指摘に対して、
0:03:03	模擬地震ハラス系と応答スペクトルを、⑥の資料の 7 ページ。
0:03:08	2 支出、六、七、
0:03:10	そして示さしてもらっております。
0:03:13	続く 8 ページ。
0:03:14	の方に加振試験内容一覧として表 1 を追加しております。
0:03:20	また 9 ページ目。
0:03:22	にて、振動特性把握試験の結果と 3 次元応答の確認結果を記載してまして、
0:03:28	10 ページ目。
0:03:29	の方で模擬地震はによるカシワギ試験の結果として、加速度を示すように記載を適正化しております。
0:03:37	続いて資料⑤に戻りましてナンバー34。
0:03:42	もしご指摘でA案 6 ヶ所について、考え方を追記すること、9 試験体概要寸法を追記することというご指摘について、
0:03:52	⑥の 6、資料の 6 ページ。
0:03:56	ですけれども、主義で記載を追記しておりますが、
0:04:01	6 ヶ所女性理由を追記しております。
0:04:04	また同ページの 5、図 5 の中に先方を記載しております。
0:04:10	加えますと 9 ページ目。
0:04:13	のっ行で、
0:04:14	地震は、神博士の括弧 3 次元応答確認。
0:04:19	という項目の中で、試験結果から、
0:04:22	の応答軸が明確であることを踏まえて 3 次元加振と、
0:04:26	30 カシマ、同等な試験方法、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:29	やったん塾での歌詞が妥当であるという旨を追記しております。
0:04:35	続いて⑤の資料のナンバー36のご指摘ですけども、
0:04:39	別荘地の構造について他社比較を追加。
0:04:43	検討することというご指摘に対して、
0:04:45	⑥の資料、
0:04:47	この右方 13 ページ。
0:04:50	日程、他社との構造の比較。
0:04:53	このスライドを追加しております。
0:04:57	続いて⑤のナンバー37のご指摘でセイキ蜜試験結果について、状態で加振を実施した後の試験結果も、結局、試験の結果も追記することというご指摘に対して、
0:05:09	⑥⑥の、
0:05:12	12 ページ、右肩 12 ページ。
0:05:15	の試験結果を示してる表の中で、開閉、
0:05:18	その他のCCI試験をした結果、
0:05:21	というのを追記しております。
0:05:25	主な説明事項に関する修正箇所は以上でして、
0:05:30	続いて、
0:05:31	補足説明資料に対するご指摘の、
0:05:33	配当を説明いたします。
0:05:36	①の資料、
0:05:38	の打ちかえ等通して 5 ページ目。
0:05:41	No.36 からになります。
0:05:47	こちらですけども④の補足説明資料の通しの 140 ページ、
0:05:53	の方で、
0:05:56	最後の段落の記載について気密性の試験の判定基準値を、
0:06:01	保守的に設定したことを示す記載であると前回ヒアリングで説明させて、
0:06:05	いただきましてそのことがわかるようにということのご指摘でしたので、今回記載を適正化しております。
0:06:13	続いて①の資料のナンバー37。
0:06:16	で、EPRで用いているダンパーを適用することの妥当性について説明することというご指摘に対して、
0:06:24	資料④の通しページで 149 ページ。
0:06:30	ですこちらでEPRで用いられていた使用方法と事故時に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:35	期待する、動作の改善方向は異なっておりますけども、事故時に作動させると いう共通点から設計のベースとすることは妥当と考えていますという、
0:06:44	上の記載を追記しております。
0:06:48	続いて①のナンバー38のご指摘聞いてして、
0:06:52	こちら資料04の通しページ90ページ。
0:06:57	ですけども、補強リブ等を図面、図示できるとするようというご指摘でしたの で、
0:07:03	文章中、上の文章で、そういう文言があって図で見えないということでしたの で、文章中で記載がある部位についても、図で示すようにB断面、
0:07:13	を追加しております。
0:07:16	このページでも同様の図を用いてる箇所は変更しています。
0:07:20	続いて①のナンバー39のご指摘ですけど、
0:07:24	霞試験の加速度計の取り付け方について、ダンパの羽根の開閉。
0:07:29	によって水平に直交と方向が変わる。
0:07:32	ことについて対応がとれているのかというご指摘について、
0:07:36	表じゃなかったと確認いたしまして開閉
0:07:39	に応じてデータが対応していることを確認しましたので、
0:07:42	現在のこの資料中の現状の記載で問題ないことを確認しております。
0:07:49	最後のご指摘ですが、資料①のナンバー40。
0:07:54	ですけども、試験計画時の考え方や、単軸箇所イトウ3次元瑕疵の比較につ いて、文章の結文章の結論を、
0:08:03	記載することというご指摘に対して、
0:08:05	資料④の通しページ107ページ。
0:08:11	あともう1ヶ所ご指摘は134ページもですけども、結論の文章がちょっと、
0:08:16	不足しているというご指摘でしたので、結論となる文章を追記し適正化をして おります。
0:08:22	当社からの説明は以上です。
0:08:33	規制庁のヨシザキです確認だけ、説明ありました。
0:08:38	最後の方の補足説明資料149ページの欧州との比較の
0:08:45	追加としたところですかね。
0:08:47	補足の149ページで黄色ハッチングで追加してもらったんですけども、
0:08:52	先日のヒアリングで来、何か資料01の回答でもあったんですけど、
0:08:59	シール①ヤスNo. 37D回答でその
0:09:04	バウンダリー用いられてるダンパーを設計ベースとして取水事は事故環境に おいて機能を期待しているものであることから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:12	妥当であるというふうに、この回答には書いてあんですけど。
0:09:15	こっちの補足に行くと、事故時の環境とかってというのは、
0:09:19	あまり明示的に書いてなくてですね。
0:09:22	事故時に動作させるという共通点からとか、少し
0:09:26	もう少し
0:09:28	具体的な、どのような評価というか確認事故時の環境条件に対してどのように考慮したのかとか、
0:09:36	あとその前段で欧州では、開機能に期待しておりってあって、それをその後松嶋に持ってくる時には閉機能も、
0:09:47	閉機能の方を主に使ってますんで閉機能の方に対しては、どういうふうに考えたのかというのを少し、
0:09:53	具体的に記載していただきたいというのが、前回の趣旨で話をしたんですけども、
0:10:01	もう少し具体的に記載することはできないでしょうか。
0:10:07	中部電力の中嶋です。具体的にというのは今
0:10:12	教えていただいた内容を踏まえますと、
0:10:15	環境事故時環境に対応するように設計している。
0:10:19	等の記載を加えていけばよいということでしょうか。衛藤。もともとあくまで当社としてはその設計のベースとしてPRのもとと使われていたダンパーを用いて、
0:10:30	いて当然その耐環境性とかに、等に関しては
0:10:34	体制の確認っていうのは他の設備と同等の確認を実施して、
0:10:39	おりますので、そのBPRで使っているダンパーを全くそのまま持ってきて、環境耐環境性の確認とかをしてないというわけでは、
0:10:48	当然ないんですけども、そういったことを具体的に、
0:10:53	記載することによってよろしいでしょうか。
0:10:57	規制庁の吉崎です。はい、その通りです前回もそのような趣旨で、
0:11:02	コメントしたつもりだったんですけど少し違いがあったのかわかんないんですけどはい。今おっしゃった通りで、事故時の環境条件について、
0:11:13	今おっしゃったことを、
0:11:15	トータルで書いてもらいたいというのとこの閉止機能についても、期待しているので、そこについても、具体的に島根ではどういう設計なのかというのを、
0:11:27	書いていただきたいというのは、前回の趣旨のコメントでした。
0:11:37	内容理解したでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	中島です。了解ですけどちょっと閉止機能に関してっていうところは、次のページ等でその例えば平時機構、
0:11:49	詳細追記して追記じゃない。失礼しました(2)の平易事項についてっていうのは当初 150 ページ。
0:11:56	記載をしておりますのでこちらで
0:11:59	当然認識としては足りているかなと思いますので先ほどご指摘いただきました環境条件に関する記載が、回答整理表にある、こちらの補足説明資料自体ではないということをご理解、
0:12:09	こちらでも理解いたしましたので、そういったところのちょっと拡充を検討いたします。以上です。
0:12:16	規制庁の井関閉止機能というのはさっき、先ほどの次のページに書いてあるってのはわかるんですけど、
0:12:22	要は前段で欧州では、ダンパーの会期工期に期待しておりってやってそのあとに
0:12:29	閉止装置、何だ、
0:12:32	閉止機能に期待する分アウトパネル閉止ソフトは、
0:12:36	機能を期待する開閉方向が相違しているものであるんで、
0:12:41	へ相違してるんだけどもそういったことを考慮して、こういった装置があると、その説明を是後段でしてるというふうな、そういうことだとは思んですけどそういった流れにしていただければと思うんですけどもいかがでしょうか。
0:13:21	中部電力の中嶋ですちょっと今の現状のその 149 ページに、記載を拡充する内容としては、
0:13:31	少し具体的な内容でいきますとその事故時環境もともとその
0:13:35	うちの方でも事故時環境を考慮して設計されていたダンパーだと。
0:13:40	たことっていうことを、
0:13:43	拡充することと、
0:13:45	あとはすいませんちょっと理解できてない意見なんですけども閉止機能、
0:13:52	開方向が相違していることについての
0:13:56	記載の拡充っていうことが上手くすいません、先ほどと同じ繰り返しなって申し訳ないですけども当社としてその後段でも説明していると思っておりますここで
0:14:06	どういうふうな表現をしていくべきかというところはちょっと理解しかねてますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:11	規制庁ヨシツグ青田文章に書いてあるので、えっとですね、一番最初の黄色ハッチングところで、欧州では事故時においてダンパの開放機能に期待して置いてあって、
0:14:24	その次にSA時において、山ば閉止ダンパ閉止機能に期待しているプロアウトパネルの
0:14:33	閉止装置とは、機能を期待するが、開閉方向が少し相違していたんで、
0:14:39	欧州では開機能で、今回嶋井出は閉方向、
0:14:44	に期待で期待してるものが相違してるんだけどもっていうのがあるんで、そうしてるんだけども使えるっていうのを、少し
0:14:54	何て言うか、前、
0:14:57	説明していただいてその次に、詳細に、
0:15:02	平時機能がこういうふう設計してますっていうのは、繋がりがわかればいいのかかなと思ったんですけどもそういう趣旨でお話したんですけども。
0:15:15	中部電力の中島です。はい。一応こちらの認識今のご説明を受けまして基本的にそのまま現状のダンパー、
0:15:25	閉止装置として設計のベースとすることは妥当と考えているという結びの部分にもう少しそのベースとして、
0:15:33	今回も島根の措置として用いるために例えば先ほどその開閉方向、
0:15:38	和平方向でもその事故時、
0:15:40	環境に耐えられる。
0:15:41	ような設計としていますというような、記載の拡充を、
0:15:45	することで、
0:15:46	認識いたしましたので、そのように記載拡充を検討いたします。以上です。
0:15:51	はい。市長の出席です今おっしゃった通りで閉方向についてどういうふうにか確認して採用してるかというのを、少し
0:16:01	記載というか表現していただきたいのが
0:16:05	私の趣旨なので、
0:16:07	そこは伝えればいいと思います。
0:16:09	よろしいですか。
0:16:14	中部電力の中嶋です了解いたしました。
0:16:21	その他、Webの方で確認あるでしょうか。
0:16:29	規制庁植木です。
0:16:35	ポイント。
0:16:36	の資料6ですね、僕のパワーポイントの
0:16:40	9ページお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:46	これで、
0:16:50	作業とか、家族どうの、プロット図があつて、これちょっとマスキングなので具体的には言えないんですけど、
0:16:59	右側に凡例があるんですけど、この凡例って多分、
0:17:08	Y方向加振のも能に対する判例。
0:17:13	あつて、X方向とZ方向ってまたそれぞれ別の判例があると思うんですけど、既往変わると思うんですけど、
0:17:23	いかがでしょう。
0:17:30	中部電力の中島です。はい。失礼しましたご指摘の箇所
0:17:34	判例の動きですので、適切に修正いたします。以上です。
0:17:41	規制庁植木です。お願いします。それと、ちょっと細かいんですけど同じページの試験結果のところですね、辛抱特性把握、
0:17:52	上の振動特性把握試験なんですけど、明確な共振点は確認されなかったっていうことなんですけど、これ、
0:18:02	前のページ8ページGの注記の1を見ると、1、1から40Healthのスムーズ範囲。
0:18:11	の、ランダムはを使っているということなので、
0:18:16	結果の方もですね
0:18:19	これ、1から4Hzの間で、
0:18:23	両進展が確認されなかったという、
0:18:26	ことでよろしいんです。
0:18:29	中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。以上です。
0:18:36	わかりました。
0:18:37	ちょっと明確になるように、
0:18:42	結果の方に振動する範囲を書いていただく方がいいかなと思います。
0:18:49	中国電力ミヨカワです。承知した、承知いたしました資料に反映いたします。以上です。
0:18:58	政投銀説明します。あと、7ページなんですけど、
0:19:06	これもまず、時刻歴は系統とセットで水があつて、これもちょっと難しい。
0:19:15	けど、
0:19:16	下の応答スペクトルの図。
0:19:21	ちょっとこれも凡例の話なんですけど、
0:19:27	これ、僕自身はを通すPETる。
0:19:31	ということなんですけど、これが
0:19:35	僕自身は、の、に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:39	続いて応答スペクトルを書いた図ではなくて、模擬地震はを作成する上でも、
0:19:46	目標の音スペクトルという
0:19:50	ことでよろしいんですね。
0:19:55	中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。
0:19:59	以上です。
0:20:02	規制庁池です。わかりました。そうするとですね、ちょっとやっぱり誤解を受ける。僕自身は、結果として、
0:20:10	作成されたものがこの音スペクトルとも読めるので、目標なら目標っていうふう
	に明確にさせていただいた方がいいかなと思うんですけど、いかがでしょうか。
0:20:24	中国電力宮岡です。承知いたしました。念のため内容を確認した上で、凡例見直すようにいたします。以上です。
0:20:32	規制庁生出さんお願いします。
0:20:35	阿藤、ちょっとこれも細かいんですけど
0:20:41	設計を1本取っとる位置、
0:20:45	ていのがですね、
0:20:48	結構たくさん出てきて、
0:20:51	例えば7ページの応答スペクトルる一姿勢もそうなんですけど後、
0:20:57	10ページの、
0:21:00	結果の表のところも設計を震度1、
0:21:05	ていような書き方になってるんですけど、
0:21:10	文章の方でSsだっっていうのは、
0:21:14	条件のところを書いてあって、それを見ればわかるんですけどただ設計をする
	か宇都スペクトルとか設計を震度1っていうのは、
0:21:27	弾性設計オオノそのSDも同じ言い方をしているので、
0:21:34	設計の1、
0:21:36	と明確にさせていただいてるのはいいんですけど、やっぱり別。
0:21:42	中深度Ss数の設計を進藤っていうそのSSっていうのをちゃんと書いてもらう。
0:21:48	例えば、そういう結果と数、
0:21:51	この表を見たときにSsなんだなってわかるんで、
0:21:55	ちょっとそういうふうにしてもらった方が誤解を書いてるかわかりやすいかなと
	思うんですけど、いかがでしょう。
0:22:04	中国電力ミヨカワです。承知いたしました。7ページの図の方には凡例のほう
	で設計を床音スペクトル維持、括弧Ss等で10ページの方にも同様にSsである
	旨を追記いたしたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:21	都築委員。はい。よろしくお願いします。阿藤今の話って補足説明資料の方にも結構たくさん出てきて、ここ0、
0:22:37	審査会合までっていうわけではないんですけど、最終的にはちょっとS、基準地震動Ss、
0:22:46	だっていうことが、
0:22:49	明確になるように、意識して帰って修正していただければと思うんですが、いかがでしょうか。
0:22:59	中国電力宮岡です。承知いたしました。以上です。
0:23:05	規制庁小木曾です。
0:23:08	えっとする。
0:23:09	3見ないんですけど、
0:23:15	本当本当の資料1。
0:23:20	のですね、
0:23:24	39番。
0:23:27	等の加速度原研なんですけど、1点ちょっと工夫したいのは、
0:23:36	うん。
0:23:40	資料4のですね補足説明資料の業務も、
0:23:50	127ページとか128ページで、
0:24:03	測定点、五つは
0:24:08	あたり等、
0:24:11	129ページも
0:24:16	多数です。
0:24:21	すいません。いや比102、27ページでもいいんですけど、
0:24:31	でですね前回もちょっとお聞きして
0:24:36	例えばまず、
0:24:37	閉状態で、
0:24:40	加速度センサーを羽根に取り付けますとXYZ。
0:24:46	3方向のセンサーなんかあれですけど、それで、次、それで加振試験をしました。それで今度開状態。
0:24:56	ちょっと逆かもしれないですけど、90度、
0:25:01	改善させた改良体になったときに、XYZって変わると思うんですけど、この結果っていうのは
0:25:13	試験体の辛い方法について、すべて結果がまとめられているという理解でよろしいですか。
0:25:25	何て。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:27	これに聞いてるかっていうと、先行の女川の場合、
0:25:32	なんですけど、あれも、形式は違いますけどあれ、あれも、扉がこう、
0:25:39	90度方向に
0:25:43	縦軸の周りに蝶番。
0:25:48	改変する。
0:25:50	ですけどその時にやっぱり、XYZってその家、
0:25:55	会議の状態と閉の状態が変わっ
0:25:59	んですけど、オノの書き方は、
0:26:03	面外とか面内、
0:26:07	結果をまとめる時にイソノと、ととピラー開閉装置の面外とか、水平面外とか水 水平面だっていう書き方になってて、それ、
0:26:19	開いた状態であっても、
0:26:23	もともと閉まった状態での面外面内、
0:26:28	ということでまとめられているんですけど、
0:26:33	今回の島根のやつってXYZとしか書いてないので、このXisっていうのはその 先に台地付けた状態での、XYZ
0:26:46	例えば、
0:26:48	118ページなんかに、
0:26:51	加振台の江藤、あとセンサー上がありますけど、ここ、ここに出てる座標のXY Z。
0:26:59	に対する結果っていうふうに思う。
0:27:02	ばいいんですかね。
0:27:05	開いた状態の場合でも、
0:27:10	中国電力ミヨカワです。
0:27:12	今ご質問いただいた内容ですけども、試験、
0:27:16	ラインに設置した、110、
0:27:19	8ページに記載されてる試験台に設置した状態でのXYZの方向に、
0:27:24	羽根の開状態閉状態、両方とも合わせた結果の整理となっています。
0:27:29	以上です。
0:27:34	市長わかりました。
0:27:38	そうするとあれですか、例えばセンサーサイショに貼り付けたときに、
0:27:44	XYZって呼んでるものは、今度は
0:27:48	90度回転したときにはそのXYZ
0:27:52	とっていうのはデータの整理上は、
0:27:56	向きが変わるっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:58	変わったものを整理してるっていうことでよろしい。
0:28:04	中国電力ミヨカワです。
0:28:06	とご認識の通りで開状態で臭いZで設定したものを 90° 回転した場合にはY方向はほぼ変わらないんですけどもX方向とZ方向は方向が入れ替わりますので、データの読みかえを実施しています。以上です。
0:28:22	規制庁大江ですはい、わかりました。
0:28:25	そうなる。補足説明資料の方に何か一言を。
0:28:31	ちょっとどこに書かかってのはあるんですけど、書いてんす。
0:28:36	するのでその時、今、横谷さんが言われたようなことで整理してるっていう。
0:28:43	ことを、一言どっかに書いてもらった方がいいかなと思うんですけど。
0:28:51	中国電力宮川です。承知いたしました。補足説明資料の適切な位置に、継続のXYZ方向が試験台に設置した際のXYZ対応している旨を記載したいと思います。以上です。
0:29:07	規制庁大池です。はい。よろしくお願ひします。その時に
0:29:12	羽根の開閉状態にかかわらず、
0:29:15	みたいなことを、
0:29:17	ちょっと、
0:29:19	いいかなと思うんです。
0:29:24	中国電力宮岡です。承知いたしました。以上です。
0:29:29	規制庁大池です。よろしくお願ひします私からは以上です。
0:29:36	他に
0:29:37	ありますか。
0:29:44	ウタガワさんよろしいですね。はいどうぞ。すいません。ちょっと一点要する。
0:29:51	です。
0:29:54	はい。該当事項であるんです。資料 4。
0:30:01	ですね、補足説明資料の、
0:30:05	139 ページ。
0:30:09	なんですけど、2、5 ポツで健全性確認結果っていうのがあって、
0:30:21	4.1 で君 II、
0:30:25	性能試験結果で、
0:30:30	5.2、141 ページの 5. で動作試験結果。
0:30:36	英語があつてですね、
0:30:41	ちょっと別の資料、例えば丸さんの資料なんかを見ると、加振試験をやった後に、
0:30:49	構造健全性を確認しますという古藤なふうに書いてあるんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:56	とそ多分
0:30:59	本市の三田伴では、それに対する記述っていうか、
0:31:04	気密性とか動作を確認してるんですけど、
0:31:09	目視Cで、問題なかったとかあと、
0:31:13	一つのスタートだったのは、ひずみレイジーも貼ってると思うんですけど、その非常に図ってす
0:31:25	ひずみが、ちょっとわかりませんが、弾性範囲にあったことを確認したとかそういう構造健全性に対する結果っていうのが今、
0:31:36	記載がないように思うんですけどいかがでしょうか。
0:32:00	中部電力の中嶋です。
0:32:02	現状秘密にgageだったりの結果目視も含めてですけども問題ない。
0:32:09	いう、明記している場所は、ご指摘の通り、
0:32:13	入れないと思いますので、ちょっと一言それは
0:32:17	説明資料の3試験結果。
0:32:19	この中にも和泉啓二等で構造的にも健全であったこと。
0:32:23	確認していますというような旨の追記を検討いたします。以上です。
0:32:29	規制庁池です。はい。お願いします。
0:32:33	資料4、4、3番ですかね。比較表の方で資料3番で言うと、ここ2、
0:32:41	41ページに、
0:32:45	どのBOT平時装置加振試験結果っていうことで、外観目視点検結果、
0:32:55	とかちょっと、
0:32:57	ですけど、こちらの資料には一応、問題なかったっていうのが書いてあって、
0:33:03	補足説明資料もですねやはり
0:33:08	これだけで完結した資料になって、
0:33:12	見た方がいいかなと、要は
0:33:20	添付書類の方に記載、添付ですね、添付書類の方に記載されてるような結果っていうのは補足にも、一応ちゃんと
0:33:29	むしろその詳細にこちらに書いておくべきで、項目として抜けているので、
0:33:42	ちょっと繰り返しになりますけど、記載をお願いします。
0:33:49	中部電力の中嶋です。了解いたしました。もともと当初の認識としては添付資料側の補足説明資料という認識でしたのでちょっと外観も検査、ただその添付に書いてあること。
0:34:00	これはもうすべてなので、す、補足説明資料の方から割愛しておりましたけれども、同等の記載を追記した上で補足説明資料の方にはそのひずみゲージ、
0:34:10	でも問題がなかったというような旨を加えて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:13	追加検討いたします。以上です。
0:34:17	規制庁の池ですはい。よろしく願います。ごめんなさい。ちょっともう1件あって、
0:34:23	これちょっと今回の会合とはちょっと直接関係ないんですけど、
0:34:30	資料3、
0:34:33	ですね、比較表の方で、
0:34:37	これ、
0:34:38	13ページ。
0:34:41	なんですけど、
0:34:45	その下ですね、B、B、乙Dヘリ装置構造強度っていうことで、
0:34:53	Cポツ、
0:34:57	先行ですと、
0:34:59	ちょっと先行の話は言えないんですけど、ここで
0:35:04	備考欄にですね
0:35:08	波及影響に関してちょっと違いが述べられていて、
0:35:14	その下の方に石村2号機のBをPA装置は常設。
0:35:19	重大事故緩和設備該当し、上位クラスであるため、波及影響について記載しないというふうな会議、
0:35:29	てあって、
0:35:31	先方とは違いますよっていうのがあるんですけど、
0:35:36	カワセは、
0:35:39	真っ白も、
0:35:41	17ページ前に戻って17ページです。
0:35:46	んところ0もう、
0:35:50	括弧2のCポツ、
0:35:53	そしてこちらの方では波及影響波及的影響の話が書いてあるんですけどことの違いついていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
0:36:26	ちょうどナカジマで少々お待ちください。
0:36:30	はい。
0:37:14	中部電力の田島です。お待たせいたしました。40ページ、当社としては基本的に43ページですかね、補足説明比較表より3ページの方の備考に書いてある、
0:37:25	理由の通りの整理をしております、先ほどご指摘いただきました17ページの方について、悪影響今後ありますけども、こちら性能目標として、基本的にその考慮は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:40	しないわけではないというような考えで、記載はしておりましたがちょっと資料の横並び等ですけれども、あと当社整理踏まえまして峠規制を削除する。
0:37:51	どうかっていうことも踏まえて検討いたします。以上です。
0:37:56	規制庁池です。検討をお願いします。
0:38:00	ちょっと私が思ったのは、
0:38:05	43 ページでですねこれ、SA設備、
0:38:10	上意見プラスなので、波及影響考慮しないっていうのはこれはこれで理解はできるんですけど、ただ、
0:38:20	例えばですね
0:38:23	お金で言うと、可搬車両なんかの可搬設備、
0:38:30	なんですけど、これは多分、SSツリー。
0:38:35	思うんですけども、一応、
0:38:38	それ自体の機能とか構造共同の評価もやってるんですけど、車両の場合は滑り、
0:38:47	がですね地震に対する滑りとか、
0:38:50	があって、隣に、
0:38:53	並んでる種他の。
0:38:57	車両に対して影響ないかとか、それは別に波及影響として見ているんです。だから、必ずしもSA設備だからといって、
0:39:08	その構造が特殊な場合では、特殊な場合は、
0:39:14	例えば、そ自分自身の機能が満足できていても、構造が特殊で、ハーカーへの影響があるような場合は、
0:39:25	また見る必要があるというふうに解釈はしていますね、先方の多分そういうことで、営業、
0:39:36	について、
0:39:38	検討してるのかなというふうにはちょっと思っていたので、
0:39:44	については、柴根井 2 号機でどう考えるかっていうのを検討をお願いします。
0:39:57	中国電力宮岡です。趣旨理解いたしました。確かに可搬設備はSA設備にもかわらず波及影響の検討等を実施しているかと思えますけども、先ほど植木さんもおっしゃった通り、
0:40:11	可搬設備は設備の特性上それが滑って動いたりして他の上位のクラスに影響を及ぼさないかみたいな観点で評価しているかと思えます。
0:40:21	当社のBOP閉装置に関しては、それ自体の、
0:40:27	設備の特性からすると、
0:40:29	先ほどの可搬設備のように他の設備、動いたりして、他の設備に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:35	影響部そんなことはないかなとは思いますが、念のため、社内検討して記載を、
0:40:43	検討したいと思います。以上です。
0:40:48	規制庁植木です。よろしくお願いします。
0:40:50	以上です。
0:40:52	規制庁です。すいませんちょっと今の点1点だけ。
0:40:56	ちょっと私もうすぐ今資料がないぽつと自信持っていないんですけど、可搬型のその影響は波及影響として見ているんじゃないかと、
0:41:05	おそらく自分自身が何かどこかにぶつかって壊れないかなという形で見ているんじゃないかなと思いますね位置付けもちょっと確認した上で検討をお願いします。
0:41:18	中国電力宮川です。承知いたしました。以上です。
0:41:23	すいません。他に何かありますでしょうか。
0:41:32	規制庁実用炉審査部門の服部ですが、4番の資料の70ページについてちょっと確認したいんですが、
0:41:44	ブローアウトパネル機能確認試験結果についてということで一番頭に、試験要領書に従って書いてあるんですが、この試験要領書というのは、
0:41:55	4-11、
0:41:59	のことでいいでしょうか。
0:42:02	この資料が4-12なんですけどその前の4-11、
0:42:06	のことでよろしいでしょうか。
0:42:16	中国電力のコウゲです。はい。4-10、
0:42:19	10、
0:42:24	通しの47ページですね。はい。4-11の資料になります。以上です。
0:42:31	はい。で、4-11を見てると、52ページに、こういう周期測定方法と書いてあって、ハンマリングによる雷撃または常時微動計測って書いてあるんですが、
0:42:43	70ページの方がですね。
0:42:46	常時微動じゃなくて常備ビデオになっちゃってるんですが、用語としては実は仲條牛イドって言葉を使うみたいで、
0:42:54	これはどっちが正しいのでしょうか。
0:42:58	中国電力のコウゲす申し訳ありませんでした。
0:43:03	70ページの常時常備微動は誤記でございました。修正いたします。常時微動が衛星でございました。申し訳ありません。以上です。はい、わかりました。それともう1、
0:43:16	1点ですが、70ページの下側の図なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:21	振動モード図出てるんですこれは計測結果でしょうか。
0:43:28	中国電力のコウゲです。以前のヒアリングの時にも同じ質問をいただいたかと思えますけれど、これは計測結果を分析解析して表示しております。以上です。
0:43:42	そうするとし、規制庁羽鳥です。試験の方の 4-11 の資料見ると、計測機器類がですね、
0:43:54	52 ページ、通しの 52 ページ 2、
0:43:58	加速度計がついてるんですがこの試験のために、そこ、
0:44:03	天一測定に頭にこうついてるんですが、この 2 行で、さっきの振動モードを、
0:44:11	すべて網羅してるんでしょうか。これを見ると、何か相当あちこちにセンサーがついてないところの絵が出てこないような気がするんですけど。
0:44:23	中国電力のコウゲです。
0:44:25	実際の足点は
0:44:28	もっとございます藤元図にお示しました、
0:44:34	先ほどの
0:44:36	元図、
0:44:37	にお示しております。70 ページですね 70 ページにお示しております赤い線、青緑の線、がももとの
0:44:49	維持に占めておりますけれど、横方向縦方向にラインがありますけれどこれの交点にすべて衛藤測線を設定しておりますそこで観測してデータで分析、表示しております。
0:45:03	衛藤先ほどの要領の方の測定位置測定 2 っていうふうに表示しておりましたけれどそれはその中でこの 4-12 で結果をお示する中央部の
0:45:17	測定を代表して記載しております。以上です。
0:45:23	規制庁はとりあえずわかりました。要するに要領の方には書いてないんだけど実際にはもう、この交点部分だけ、すごい
0:45:31	多くの点を測定してるっていうこと。
0:45:35	ですね。
0:45:38	中国電力、コウゲですご理解の通りでございます以上です。
0:45:43	はい、規制庁羽鳥です。了解しました。私から以上です。
0:45:49	ありがとうございます規制庁のです。では他に質問ありますでしょうか。
0:45:59	よろしいですか。
0:46:03	はい。
0:46:04	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	規制庁の吉崎です。パワーポイントの 5 ページで追記してもらったところなんですけども、
0:46:15	火装置は中央制御室から操作によって意識各 24 台が電動で同時に、
0:46:22	開閉できる設計ってあんですけどもこれは、24 項、2、何かリミットスイッチみたいのがある、それで何かランプかなんかで、
0:46:32	中央制御室開閉状態が確認できる。
0:46:36	すそ、そういうこと。
0:46:37	調整技術の開閉状態が、確認、どうやって確認するでしょうかという質問なんですけど。
0:46:44	中部電力の中嶋です。
0:46:47	24 台それぞれに、一つ一つ見トスイッチっていうことではなくてですねそれぞれ駆動部、
0:46:53	単位でリミットスイッチがついておりまして、そうすると図 2 を見てもらったらわかるんすよ要は各 3 連ダンパー 2 連ダンパそれぞれ、
0:47:03	一つずつに、軸にリミットスイッチがついておりましてそれがすべて
0:47:08	閉方向である、停止した場合には閉のリミットスイッチがすべて入った段階で中央制御室の方で表示されることとなります。以上です。
0:47:19	規制庁井関ですわかりました金の数ではなくてそのダンパのその駆動部の、
0:47:26	数で、駆動部について数値がついていてそれで全部のアンドというか、中央制御室でランプ表示が出るということでしたっけ。それでよかったですか。
0:47:40	中部電力のナカシマヤスすみません、厳密にどうだったかというところは、
0:47:45	その表示の仕方がですね、どうだったかということはちょっと、
0:47:49	確認とれていませので確定のことではないですけども、ランプ化もしくはそのソフトでモニター表示、
0:47:55	になってくると思います。以上です。
0:47:59	規制庁の井関です。とりあえずわかりましたそういったランプ表示かソフトの表示で、開閉状態がわかるということで
0:48:10	とりあえずわかりました。
0:48:12	私から以上です。
0:48:16	はい。
0:48:18	他に、
0:48:20	なければ、
0:48:25	ホワイトボードの方入ろうと思いますが、
0:48:29	よろしいですかね。
0:48:31	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:32	では、初盆の確認に入らせていただきたいと思います準備よろしくお願ひします。
0:48:46	中部電力中嶋です。ちょっと今から共有しますので少々お待ちください。
0:49:45	中部電力中嶋菅野教諭しましたが、そちらで確認できているでしょうか。
0:49:52	はい、大丈夫です。
0:49:58	近づいてお願ひします。
0:50:09	中部電力の中嶋でそれではほえから、
0:50:12	取り上げますけども、まずナンバー1ですが、ビーアールで使用されているダンパー、
0:50:18	グローバルに装置を用いることの妥当性について事故時における耐環境性とあと開方向の相違点の観点を踏まえて記載を拡充することと、110の検討をすること。
0:50:29	続いて、2ですけども、図八、九の判例について適切な表現に見直すこと。
0:50:37	続いてナンバー3ですけども試験結果に振動数範囲の追加を検討すること。
0:50:44	続いてナンバー40 図7の模擬地震花本スペクトルが目標値。
0:50:49	であることがわかるように、に記載検討すること。
0:50:53	続いて丹波5、SA設計を床応答スペクトル位置及び設計用地震の位置が S_s して、地震動であることがわかるように記載検討すること。
0:51:05	また補足説明資料の方も同様の表現見直しを検討すること。
0:51:09	続いてナンバー6です。XYZ方向が、
0:51:13	富士現代に設置した状態での方向。
0:51:16	要は、これは少しあれですダンパの開閉。
0:51:20	見てみ変えているということがわかるように、
0:51:22	記載を検討することになると思います。辻ナンバー7。
0:51:27	ですけども、
0:51:28	構造健全性に関する、
0:51:31	評価について、記載の追加を検討すること。
0:51:34	続いて、No.8、ぶらぶら閉装置の波及影響について記載内容の相違、
0:51:41	場所があるので記載要否等について検討すること。
0:51:45	続いてナンバー9です。常備
0:51:49	移動。
0:51:50	そういう点を適切な表現、記載に見直すこと。
0:51:54	野木町になります。虻川ご指摘お願ひします。
0:51:59	No.9は単なる誤字なんで。はい。
0:52:09	あ、適切に出していただければ結構です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:17	あ、規制庁の言ったけど、ああいう規制庁ヨシザキですけど、6番のXYZ方向で先ほど説明の確認なんですけど、Y方向が軸方向だから変わらなくて、
0:52:29	XとZ方向が開閉した時に入れ替わるそそういう説明なんで、粗相理解でよかったですかね。
0:52:41	中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。以上です。
0:52:47	規制庁ヨシザキ材了解しました。
0:52:49	それとですね、どうだったっけ。
0:52:55	4番の、図7のそのサポートスペックの目標値ってのは、これ目標値だけ、目標値なんで実際の値は、なんていうのは、ここ。
0:53:06	こういった違う値で不
0:53:07	入力してるってそう、そういうことですかね。
0:53:13	中国電力ミヨカワです。ナンバー4の質問、植木さんからいただいたものなんですけども、質問いただいた後に確認したところ、今記載しているものは、作成した模擬地震応答スペクトル。
0:53:24	となっておりますので、現状の記載が適切であることを確認しております。以上です。
0:53:32	規制庁池です。わかりました。
0:53:38	ただ、それ自体は、結構何か、あまりこうキザギザないっていう紙乱れてない、ないので、目標かなと思ったんですけど、
0:53:51	わかりました。
0:53:53	規制庁だといいですけど、多分これ周期分点が相当少ない状態で計算してるんじゃないかなと思うんですけど。
0:54:10	中国電力ミヨカワです。現状のスペクトルの図につきましては島根2号機のFRSを作成する範囲の際の周期刻みに合わせたものとなっております。以上です。
0:54:36	安芸社長へ来せ、わかりました。
0:54:43	確認ですけどそうすると、
0:54:51	これでまず茂木知事は
0:54:55	これをもとに加振台入力して、実際のその加振台上への何人。
0:55:03	ていうのは、補足説明資料の方でまた、
0:55:07	でて、ちょっと申し訳ないんですけど、
0:55:13	例えば4番の補足説明資料の方で言いますと、
0:55:18	陽通しの139ページ。
0:55:21	ですね、これが多分実際、振動台に入れた、
0:55:29	加地の実績のナビを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:32	てるんですけど、私イメージ妥当、実際の、僕自身はもう、
0:55:40	こういうような形。
0:55:42	んなって、ちょっと周期分ての話はあるかもしれないですけど、ちょっと実際の駄目だとすると、
0:55:51	むしろここ 130 ページから 133 ページ以降のようなイメージがあって、
0:55:59	最初に茂木自身は、
0:56:02	添付する。
0:56:06	減衰が 1%なので、
0:56:10	もうちょっとこうギザギザになるような気がして、それで目標なのかなと思ったんですけど、ちょっと再度確認をお願いします。
0:56:31	青野にする。4 番のコメントはちょっと変えますか。17 のオオノ議事の応答スペクトル。
0:56:39	がどのように設定されているか。
0:56:42	説明することとかですかね。
0:56:46	そうですね一応確認していただいたってことなんですけど、目標か。
0:56:54	うん。
0:56:55	目標、目標、
0:56:58	か。
0:56:59	実査飯野僕自身
0:57:04	実際、作成された模擬地震は藤スペクトルかどうかというのを確認することって、
0:57:12	いうことでいいと。
0:57:25	確認する。
0:57:29	はい、ありがとうございます。
0:57:34	2 番はこれも適宜、
0:57:39	表現だけの話だと思うんでやってくださいってことでいいですかね。
0:57:45	はい、結構です。
0:58:07	あと、一度ちょっと 8 番より下の部分 9 番だけかなを見せていただいていた方がいいですか。それで、そうか、9 番でもすくうだからいいか。
0:58:17	はい。ありがとうございます大丈夫です。
0:58:22	はい。
0:58:29	規制庁の井関です 7 番で最後には試験の後にその構造健全性の評価で外観点検、いろいろ
0:58:38	見た結果を記載するってことなんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	確か前回も開閉試験の後にそのシール部について健全性、異常がないことを確認してるみたいなことを説明あったので、CC部分だとかそういったところの確認結果も、
0:58:55	あわせて、追記をいただきたいんですけども、いかがですか。
0:59:03	中部電力の中嶋です了解いたしました外観検査としては基本的に、各部位外観で見えていますので、シール部分を確認してるのがわかるように、
0:59:11	記載検討いたします。以上です。
0:59:15	規制庁井関ですはい。よろしく申し上げます。
0:59:18	私からは以上です。
0:59:22	じゃあ他になければこれでセットということによろしいですかね。
0:59:29	はい。では、これをお願いいたします。
0:59:33	では他になければ、本日のヒアリングを終わりたいと思いますが中国電力からよろしいですか。何かありますか。
0:59:45	中部電力中嶋です。こちらからはないです。はい。ありがとうございます。それでは本日のヒアリングを終わりたいと思いますお疲れ様でした。
0:59:55	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。